

# お母さんが安心して「子どもから目を離せる場所」を

**何**をするでもない。  
だから安らげる

ある平日の昼時。ポツリ、ポツリとやってきた乳幼児を持つママやパパが、ふらっとスペースの座敷で、何をすでもなく過ごしています。隣の人とおしゃべりする人、わが子の遊ぶ様子を遠目で見ている人。ときどき、さりげなくスタッフと話しかけ、母親同士の会話をつなげています。

「乳幼児検診どうだった？」「体重がね...」。何気ない話題のようですが、こうしたちよっとしたおしゃべりが、子育ての重要な情報になると岡本さんは言います。



青や赤のTシャツを着ているのが、ふらっとスペースのスタッフ。お母さんたちの中に溶け込んでいるので、構えずにコミュニケーションができます。



スペースの敷地内には小さなお庭も。



お人形やブロックで遊ぶ子どもたち。大人がお膳立てしなくても、子ども同士、ごく自然に集まります。



お昼になると、持ち寄ったお弁当やパンでランチ。大勢でいっしょに食べるとにぎやかです。

ふらっとスペース金剛  
富田林市寺池台1-13-31



**自**然とつながれる。  
不安がなくなる

一方、子どもたちは、顔見知りも初対面も関係なく、ごく自然にいっしょに遊び始めます。小さな庭に出て遊具に乗ったり、気ままにお絵かきをしたり。親が関わらなくても、子ども同士で遊びを楽しんでいます。また、スタッフが様子をみてくれていたため、親は肩の力を抜き、ゆったり

と時を過ごせます。

「ここにはいつ来てもいいし、いつ帰ってもいい。スタッフががいるのは、親が安心して子どもから目を離せるようにするため。お茶を飲んだり、お昼を食べたりしながら、同年代の子を持つ親としゃべるだけで、お母さんは自然と子育ての不安から抜け出すことができます」(岡本さん)。

## 利用者に聞いてみました

**Aさん**：ふらっとスペース金剛が出している会報誌をたまたま見つけ、「気軽に来れそう」と思って来ました。昼間は子どもと私だけで過ごすことが多く、時間を余していたので、同じくらいの子どもが集まる場所がないか探していたんです。ここに来ると、同じようなお子さんがいるし、スタッフの方もいてくれる。やっぱり、小さいころからいろんな人と触れ合ったほうが、子どもの成長にはいいですからね。

**Bさん**：乳幼児検診でこのスペースのことを知りました。誰かと話したいとき、ここに来ると必ず人がいて、おしゃべりができます。うちの子、なかなか離乳食を食べてくれませんが、ここに来て他のお母さんにそれを相談できたんです。ときにはグチを言い合えたりするのもいいところ(笑)。実は今日、仕事が休みだった夫も誘って一緒に来てみました。にぎやかでいいねって言っています。

ふらりとやってきた親子が、自由に過ごせるオープンなスペース。岡本さんが10年前開設したのが「ふらっとスペース金剛」です。実際にどのような様子なのか。取材しました。